

令和7年5月8日

湘南工科大学

ICT・AI・データサイエンス教育研究推進センター

令和6年度「ICT・AI・データサイエンス教育プログラム」

自己点検・評価結果

プログラム概要

本プログラムは、日本政府が提唱する超スマート社会「Society5.0」の実現、また、不足するデジタル人材育成のため、情報通信技術(ICT)を基礎に持ちAI・データサイエンスを活用できる人材を育成することを目的として開設された。全学部が開講されている「データサイエンス入門1」（2単位）の単位修得を「ICT・AI・データサイエンス教育プログラム」（リテラシーレベル）の修了要件としている（「データサイエンス入門1」で取り扱う内容は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」におけるモデルカリキュラムの内容に準拠している）。さらに令和6年度より「ICT・AI・データサイエンス教育プログラム（情報学部）」（応用基礎レベル）を開講し「データサイエンス入門1」（2単位）、「データサイエンス入門2」（2単位）、「確率統計リテラシ1」（2単位）、「データサイエンスのためのプログラミング基礎」（2単位）、「アルゴリズムとデータ構造実習」（2単位）、「データサイエンス実践」（2単位）のすべての単位を修得することを修了要件としている。

自己点検・評価

ICT・AI・データサイエンス教育研究推進センターにて実施した本学の「ICT・AI・データサイエンス教育プログラム」（リテラシーレベル）（以下、「（リテラシーレベル）」）および「ICT・AI・データサイエンス教育プログラム（情報学部）」（以下、「（応用基礎レベル）」）の自己点検・評価結果を、学内・学外の各視点から以下のとおり報告する。

〈学内からの視点〉

プログラムの履修・修得状況（リテラシーレベル）

本プログラムは令和6年度以降に本学に在籍する学生を対象にしており、令和6年度の「デ

「データサイエンス入門1」の履修者人数／学生数、履修率、修了者数は以下の通りである：

- 情報学部（285名／286名、履修率：99.7%、修了者数：263名）
- 工学部（20名／1566名、履修率：1.3%、修了者数：19名）
- 合計（305名／1852名、履修率：16.5%、修了者数：282名）

プログラムの履修・修得状況（応用基礎レベル）

本プログラムは令和6年度以降に本学に在籍する情報学部の学生を対象にしており、履修者人数／学生数、履修率、修了者数は以下の通りである：

- 情報学部（44名／275名、履修率：16.0%、修了者数：36名）

学修成果、学生アンケートを通じた学生の内容の理解度の評価

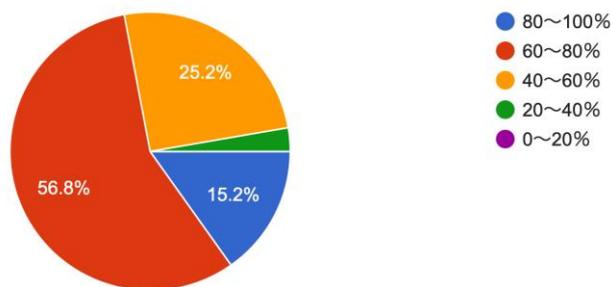
（リテラシーレベル）および（応用基礎レベル）のプログラムの構成科目である「データサイエンス入門1」では、授業評価アンケートを通じて、学生の理解度を把握している。アンケートの設問うち、主要な項目に関しては、概ね10点満点中7.5～9.0点程度の評価が得られている（回答数263人）。

- 授業の内容は授業ガイダンス等で事前に説明され理解したものと合っていますか：9.03点／10点
- 好奇心を刺激したり、意義や必要性を感じさせたりして、学ぶ意欲を高める内容になっていますか：7.49点／10点
- この授業の到達目標となっている知識や技能を、しっかりと学べる内容になっていますか：8.80点／10点
- この授業を受けてよかったと感じていますか：8.27点／10点

また、授業内容の理解度を問うたアンケート結果（下図、回答数329人）を以下に示す。

この授業における、授業内容の理解度は何%くらいですか？

329件の回答



本科目を通じて履修者の多くが以下の能力が身についたと回答している（回答数263人、複数回答可）：

さらに、（応用基礎レベル）を構成する全6科目のうち、「データサイエンス入門1」以外の5科目（「データサイエンス入門2」，「データサイエンスのためのプログラミング基

礎」，「確率統計リテラシ1」，「アルゴリズムとデータ構造実習」，「データサイエンス実践」)についても全学で実施している授業評価アンケートを通じて，すべての科目の学生の授業内容の理解度を把握している。

「データサイエンス入門2」 (回答数224人)

- 授業の内容は授業ガイダンス等で事前に説明され理解したものと合っていますか：9.40点/10点
- 好奇心を刺激したり、意義や必要性を感じさせたりして、学ぶ意欲を高める内容になっていますか：8.10点/10点
- この授業の到達目標となっている知識や技能を、しっかりと学べる内容になっていますか：9.11点/10点
- この授業を受けてよかったと感じていますか：8.75点/10点

「データサイエンスのためのプログラミング基礎」 (回答数228人)

- 授業の内容は授業ガイダンス等で事前に説明され理解したものと合っていますか：9.41点/10点
- 好奇心を刺激したり、意義や必要性を感じさせたりして、学ぶ意欲を高める内容になっていますか：8.64点/10点
- この授業の到達目標となっている知識や技能を、しっかりと学べる内容になっていますか：9.32点/10点
- この授業を受けてよかったと感じていますか：8.97点/10点

「確率統計リテラシ1」 (回答数216人)

- 授業の内容は授業ガイダンス等で事前に説明され理解したものと合っていますか：8.56点/10点
- 好奇心を刺激したり、意義や必要性を感じさせたりして、学ぶ意欲を高める内容になっていますか：7.17点/10点
- この授業の到達目標となっている知識や技能を、しっかりと学べる内容になっていますか：7.78点/10点
- この授業を受けてよかったと感じていますか：7.59点/10点

「アルゴリズムとデータ構造実習」 (回答数60人，3クラスの平均値)

- 授業の内容は授業ガイダンス等で事前に説明され理解したものと合っていますか：9.54点/10点
- 好奇心を刺激したり、意義や必要性を感じさせたりして、学ぶ意欲を高める内容になっていますか：8.40点/10点
- この授業の到達目標となっている知識や技能を、しっかりと学べる内容になっていますか：9.04点/10点
- この授業を受けてよかったと感じていますか：9.09点/10点

「データサイエンス実践」 (回答数59人，2クラスの平均値)

- 授業の内容は授業ガイダンス等で事前に説明され理解したものと合っていますか：8.41点/10点
- 好奇心を刺激したり、意義や必要性を感じさせたりして、学ぶ意欲を高める内容になっていますか：7.62点/10点
- この授業の到達目標となっている知識や技能を、しっかりと学べる内容になっていますか：8.43点/10点
- この授業を受けてよかったと感じていますか：7.96点/10点

以上，主要な項目に関して，概ね10点満点中8点～9点程度の点数で評価されていることから、授業の方法や難易度は適切であったと判断している。以上のことから，本科目を通じ

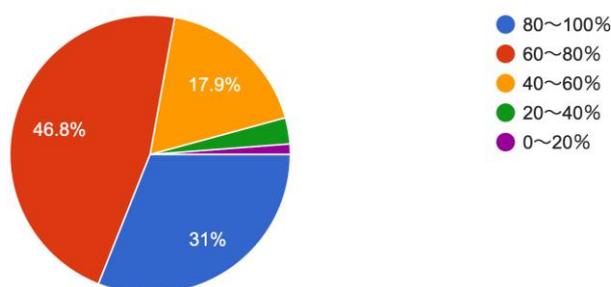
てAI・データサイエンスに関する十分な学修成果を達成できていることが確認できる。

学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

「データサイエンス入門1」の授業評価アンケートにおいて、後輩への推奨度を問うたアンケート結果（回答数329人）を以下に示す。

この授業における、後輩への推奨度は何%くらいですか？

329件の回答



この結果から、履修学生の多くが後輩学生への推奨をしていることが確認できる。

今後は、応用基礎レベルを構成する残りの科目についても後輩への推奨度を調査する予定である。

全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

(リテラシーレベル) に関しては、「データサイエンス入門1」がオンデマンド授業として運営されており、本学に在籍する全学生が受講可能な体制が整備されている。情報学部においては「データサイエンス入門1」を必修科目としているため履修率は100%となっているが、工学部における履修率は1.3%にとどまっており、全体としての履修率は16.5%となっている。今後は工学部学生の履修率の向上を図るため、希望する学生が受講できる体制の整備や、学期初めの履修ガイダンス（学年ガイダンス）における積極的な周知などに努める。

(応用基礎レベル) に関しては、「データサイエンス入門1」、「データサイエンス入門2」、「データサイエンスのためのプログラミング基礎」は情報学部カリキュラム上の必修科目としているため履修率は100%であるが、「アルゴリズムとデータ構造実習」が選択必修科目のため学部全体の履修率は16.0%にとどまっている。履修率向上に向けて、大学のHPを用いて本プログラムの授業内容や修了要件を積極的に広報するほか、学年ガイダンスにおいて本プログラムについて周知する。特に、人工知能専攻の学生の選択率が低い「アルゴリズムとデータ構造実習」について、当該専攻の学生に履修を推奨することにより履修率向上を目指す。

〈学外からの視点〉

教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

本教育プログラムの（リテラシーレベル）および（応用基礎レベル）は令和5年度入学生を対象に開始したプログラムのため、現時点においてプログラム修了者から卒業生はまだ出ていない。今後はICT・AI・データサイエンス教育研究センターと本学就職課で連携し、卒業生アンケートや企業へのヒアリングを通じて、本教育プログラム修了生についての分析を検討している。

産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

湘南工科大学では、令和6年11月に湘南工科大学産学交流推進協議会・産学交流フォーラムを通じて、会員企業に本教育プログラムに関する意見交換を行った。得られた意見については、学内で共有することで教育プログラム改善の参考とすることを検討している。

以上